

道徳科学習指導案
主題名「責任を自覚して」〔学指要領:A 善悪の判断、自律、自由と責任〕

令和5年11月29日（水） 第5校時 6年教室

I 主題設定の理由

1 価値観

人は、自らの意思に基づいて判断し、自由に行動する権利をもっている。しかし、ともすると社会生活の中で、自分の思いだけが先行し、周りの状況や相手の気持ちを考えずに、自分勝手な行動を取ってしまうことも少なくない。人として、善悪を判断し、自らを律し、誠実かつ謙虚に行動することが大切である。自由と自分勝手をはき違えず、自由には責任が伴うことを忘れてはならない。

急速なインターネットの普及により、情報化が進んだ今、情報の提供と取得においても、より高いモラルを伴った自立性と責任ある行動を取ることが問われる。児童には、他者の権利を守ることの責任を自覚し、適切に行動しようとする判断力を育みたい。

2 児童観

(削除)

3 教材観 教材名「気に入らなかった写真」

お姉さんはスマートフォンで、友達との写真をインターネット上に投稿した。すぐに友達から喜んでくれるメッセージが来る。しかし翌日、友達の1人に、写真が気に入らないから削除するようにと言われる。喜んでくれる友達と、困っている友達の間で板挟みになり、お姉さんは悩む。というあらすじである。

- ・ 本教材は日常的にインターネットに接している児童にとって身近な話題であり、自分のこととして考えやすいものとなっている。「自律的に判断し、責任のある行動を取ること」の大切さについて、多角的な視点をもって考えることができる。また、誤った判断をすることで他人の権利を侵害してしまう危険性についても学べる教材となっている。

4 人権教育との関わり

現代の児童にとってインターネットは大変身近なものである。友達同士でゲームの共同プレイをすることは珍しいことではない。また、多くのYoutuberの出現も児童の中にインターネット文化を根付かせている理由となっている。小学生でもSNSへの関心も高くなっている状況である。

本学級の児童も、SNSを利用している児童の割合が高く、適切なインターネットの使い方やルール、マナーについて学習することで、自分や他者の権利を大切にできる能力・態度を育て上手にインターネットを利用しようとする事が求められる。

そこで本時では、資料「気に入らなかった写真」を用いて、自分本位で写真をインターネットに投稿してしまったお姉さんの気持ちと、その行動に対する友達の異なる反応を通して、自他の権利について幅広く考える機会をもてるようにしたい。さらに、「インターネット上の権利」について学ぶことで、児童が自分の自由を守るための方法を知り、相手を傷つけたり他者に迷惑をかけたりしないように、正しい知識によって責任ある行動がとれるようにしたい。

II 本時の学習

1 ねらい

友達の写っている写真をインターネット上に投稿し、友達から削除を求められ悩む「お姉さん」の姿を通して、インターネットを利用するときにはどのような責任が伴うのかを考えさせ、インターネット上の他者の存在を意識させ、自律的で責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。

2 人権教育の視点[人権教育で育てたい能力・態度]

○判断力：インターネット上に発信する際は、互いの存在を大切にし、物事を相手の立場で考えて判断し、行動できる。

3 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 ○主な発問(◎中心発問◇補助発問) 予想される児童の反応[S]	○指導上の留意点 【人権教育で育てたい能力・態度】
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。(5分)</p> <p>S：ルールやマナーを理解していない人もいるな。 S：やっぱり SNS に興味や関心があるな。 S：ぼくたちはルールやマナーをほとんどの人が分かっているな。</p> <p>○ インターネット上で発信するときに気を付けていることは何か。 S：汚い言葉を使わない。 S：誤解を与えないようにする。 S：個人情報を出さない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> だれもが気持ちよくインターネットを使うために大切なことは何だろう？</p> </div>	<p>○インターネットの利用率や利用方法についてのアンケート結果を提示し、問題意識をもたせる。 【★アンケート提示】</p> <p>○チャット機能やLINE を使ったことのある児童を指名し発言させることで、普段インターネット上でコミュニケーションをあまりとらない児童にも問題意識が持てるようにする。</p>
<p>2 「気に入らなかった写真」を読み、それぞれの立場を考える。(20分)</p> <p>○ お姉さんはどのような気持ちで写真を投稿したのだろう。 S：みんなも喜んでくれるだろう。 S：思い出を共有したい。 S：「写真ありがとう」と言ってもらえるだろう。</p> <p>○ 里菜が怒っていることを知ったお姉さんの気持ちを想像する。 S：なんで怒っているんだろう？ S：喜んでくれると思ったのに。 S：勝手に載せちゃったのがまずかったかな？</p> <p>○ 里菜が怒っていた理由を知る。 S：そんなことで。 S：別に気にしなくていいじゃん。 S：気になるなら髪型変えれば良いのに。</p> <p>◎ お姉さんはこのあとどうしたらいいと思う？ S：喜んでる友達が多いのだからそのままでよい。 S：友達に理由を話して削除するのがいいと思う。 S：勝手に掲載したのは肖像権の侵害だと思うから消さなければならない。 S：SNS 自体を辞める。</p>	<p>○スライドでイラストを提示しながら話を進めていくことで、お姉さんの気持ちに寄り添いやすくする。</p> <p>○里菜の反応がお姉さんの思っていた反応と違うことを確認させる。</p> <p>○里菜の「髪型が気に入らなかった」という気持ちを伝え、そのときの児童の発言を板書することで、相手の気持ちを想像することの難しさを実感させる。</p> <p>○里菜の気持ちとそれ以外の友達の気持ちとの板挟みになってしまったお姉さんに気づかせる。 ○意見はオクリンクにて「削除する」は赤、「削除しない」は青、「その他」は黄色で送信させる。 【★一覧表示】 ○グループで話し合いをさせ、多様な意見を共有させ</p>

<p>3 権利について考える。(10分)</p> <p>○肖像権や著作権、プライバシー権について知る。</p> <p>S：勝手に人を撮影してはいけないやつだな。</p> <p>S：映画が始まる前に映画泥棒が出て来るのもそうだな。</p> <p>S：秘密をばらすことも権利を侵害してしまうんな。</p>	<p>る。</p> <p>○著作権や肖像権などの記述が見られた場合は適宜取り上げる。</p> <p>○お姉さんが写真を投稿してしまった場面をふり返り、里菜の侵害されてしまった権利と照らし合わせる。</p>
<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。(10分)</p> <p>【★データの保存・提出】</p>	<p><u>○オクリンクに送信したものを全体で確認することで、自他の権利やそれに対する配慮についての多様な考えに気づき、適切な判断ができるようにする。【判断力】</u></p> <p>○提出先は氏名非公開にし、自由な考えが出せるようにする。また、考えが思い浮かばない児童については、提出ボックスの意見を参考にするよう伝える。</p>
<p><振り返り></p> <p>S：インターネット上に写真を掲載したり発言したりするときには、相手の気持ちを考え、自他の権利を侵害していないかよく判断することが大切だなと感じた。</p>	

<p>◆評価の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言、オクリンクの記述から、「されていやだと感じることは人それぞれであることや、インターネットを利用するときには、さまざまな権利に配慮することについて考えている」姿を見取る。 ・発言、ワークシートの記述から、「責任ある行動を取るために、どんなことを心がけていこうかと考えている」姿を見取る。

III 板書計画

○お姉さんほどのような気持ちで写真を投稿したのだろうか。

- ・喜んでくれるだろう。
- ・思い出を共有したい。

誰かが気持ちよくインターネットを使うために大切なことは何だろうか？

○普段、インターネットを使うときに気をつけていること。

- ・汚い言葉を使わない。
- ・誤解を与えないようにする。

○里菜が怒っていることを知ったときのお姉さんの気持ち。

- ・なんで怒っているんだろう。
- ・喜んでくれると思ったのに。
- ・勝手に載せちゃったのはまずかったかな？

髪型が気に入らなかった。

児童の反応

- あなたならどうするだろうか？
- ・多くの友達が喜んでくれるから消せないと思う。
- ・友達にわけを話して削除する。
- ・SNSを使わない。
- ・肖像権の侵害だから消さなければならぬ。

○インターネット上で発信するには、どのようなことが大切だと思う？

まとめ

著作権	○
肖像権	×

